



Chartered April 11.1998

THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

Address : Hideki Hafuto 〒659-0023 11-13 hama-cho Ashiya Hyougo.JAPAN
Mail : hafuto@kobe.zaq.jp Tel 0797-31-8829
URL : http://www.kobeymca.org/kobe_ymca/ys/ashiya.html

主 題

国際協会会長 Poul V Thomsen
全ての世界に出て行こう Go Ye into All The World:
アジア地域会長 岡野泰和
未来を始めよう、今すぐに Start Futur Now
西日本区理事 高瀬稔彦
志をもって例会に参加し、学びの機会を持ちましょう。
Attend Club Meetings With a clear motive the most of them.
六甲部部長 山田滋己
さらなる交流 さらに国際 さらに活発な六甲部へ
More further interactive & international and we move the
Rokko Districort move active
芦屋クラブ会長 羽太英樹
いざ立て、20年をめざして

会 長 羽太英樹
直前会長 島田 恒
副 会 長 福原吉孝・堤 清
書 記 柏原佳子・堀江哲次
会 計 桑野友子
監 事 田舎庸男
連絡主事 藤田良祐
六 甲 部 五十嵐かほる(メネット主査)

6

Jun, 2014
205号

今月の聖句

あなたがたも聞いているとおり、昔の人は『殺すな。人を殺した者は裁きを受ける』と命じられている。しかし、わたしは言っておく。兄弟に腹を立てる者はだれでも裁きを受ける。兄弟に『ばか』という者は、最高法院に引き渡され、『愚か者』と言う者は、火の地獄に投げ込まれる。マタイ福音書 5:21~22

6月第1例会プログラム

と き: 2014年6月18日(水) 19:00~21:00

と ころ: ホテル竹園芦屋3F

司 会: 藤田連絡主事

受 付: 桑野ワイズ・都筑ワイズ

- | | |
|-------------------|--------|
| 1. 開会点鐘 | 羽太会長 |
| 2. クラブソング斉唱 | 一同 |
| 3. 聖書朗読 | 羽太ワイズ |
| 4. みどり福祉作業所へ基金贈呈 | 羽太会長 |
| 5. 食前感謝 | 藤川ワイズ |
| 6. 食事・歓談 | |
| 7. 「1年の振りかえり」会長挨拶 | 羽太会長 |
| それぞれの想い・反省・希望・提案等 | 全員 |
| 8. 次期のクラブ方針 | 福原次期会長 |
| 9. 5月第2例会議事録承認 | 羽太会長 |
| 10. YMCAニュース | 藤田連絡主事 |
| 11. 誕生祝い羽太会長 | |
| 上野恭男ワイズ・桑野友子ワイズ | |
| 12. ニコニコ | 福原ワイズ |
| 13. 閉会点鐘 | 羽太会長 |

あっと言う間の一年

会長 羽太英樹



島田直前会長の目玉企画であった「芦屋ワイズメンズクラブ15周年記念講演会」とミニ・コンサートがきっかけで、篠坂幸彦さん、坂東幸子さんと畠中光成さん+由圭メネットを仲間に加え、この一年みなさまのご協力により楽しく過ごすことができたことを先ずもって感謝します。

例会ではアジアに目を向けてクラブ内外各方面のスピーカーから貴重なお話を聞くことができました。このシリーズ以外では五十嵐メンによる「アダムは神の子?サルの子?」と題しての講演、今井鎮雄神戸YMCA名誉顧問の「ワイズに期待するもの」と題しての講演会も開催出来ました。

例会以外では、例年行事に加え、今年度のハイライトはなんとと言っても六甲部メネット会主催の「きらりと輝くアート展」でしょう。主査として芦屋から送り出した五十嵐かほるメネットを中心に芦屋クラブが全力投球できたのは何よりです。皆さまに感謝! このように一年はあっと言う間に過ぎ去りつつあります。年度初めに考えたことで出来なかったことも多々あり、申しわけなくも思いつつ、次期会長にバトンタッチします。

例会以外では、例年行事に加え、今年度のハイライトはなんとと言っても六甲部メネット会主催の「きらりと輝くアート展」でしょう。主査として芦屋から送り出した五十嵐かほるメネットを中心に芦屋クラブが全力投球できたのは何よりです。皆さまに感謝! このように一年はあっと言う間に過ぎ去りつつあります。年度初めに考えたことで出来なかったことも多々あり、申しわけなくも思いつつ、次期会長にバトンタッチします。

皆さまに感謝! このように一年はあっと言う間に過ぎ去りつつあります。年度初めに考えたことで出来なかったことも多々あり、申しわけなくも思いつつ、次期会長にバトンタッチします。

5月例会出席表

第1例会出席者		例会出席率		BF切手	750g
メンバー	14名	出席者	14名	累計	750g
ビジター	1名	メイクアップ	1名		
ゲスト	1名	合計	15名		
メネット	4名	在籍者	19名	ニコニコ	16,017円
コメント	1名	(内広義会員1名)		累計	139,059円
合計	21名	出席率	77.7%		

5月第1例会報告

日時: 5月18日(水) 19:00~21:00

場所: ホテル竹園芦屋3階 (敬称略)

司会: 島田 恒ワイズ

出席者: 五十嵐政二・かほる、上野恭男、柏原佳子、桑野友子、島田恒、都筑省三、堤清・羽太英樹・畠中由圭・福原吉孝、藤川晃成、堀江哲次・坂東幸子、渡辺倫子・藤田良祐 各ワイズ、メネット、連絡主事

ゲスト・三浦佳子 ピジター・ポートクラブ斎藤勲ワイズ

5月例会も、アジアのことを学ぶという会長の年間方針に基づき、ふさわしいゲストスピーカーを迎えて行われた。先月は諏訪恵子さんのカンボジアの報告であったが、今月は三浦佳子さんによるミャンマーの報告であった。

三浦さんは大学卒業後、この春まで公益財団法人太平洋人材交流センターで発展途上国の人材育成の仕事がされていた(今春からは、請われて神戸の商社にお勤め)。アセアン諸国を対象に、各国の経営幹部育成のための研修に貢献されてきた実績をおもちになる。その経験のなかから、この日はミャンマーの状況についてお話しいただいた。



われわれは一般的な理解では、ミャンマーは軍事政権が支配し、アウンサン・スーチーさんのような民主的な人物が抑圧されている国、経済的にも発展が遅れている国というイメージをもっているが、三浦さんはDVDでさまざまなシーンを紹介しつつ、明るいイメージのミャンマーを示された。経済をはじめさまざまな統計やメディアが伝えるイメージにとらわれがちであったが、新鮮なイメージを学ぶことができた。折から軍事政権の柔軟な姿勢が報道されている。三浦さんのような人材支援と相まって、ミャンマーのすばらしい発展を期待する思いに充たされたスピーチであった。

羽太会長による第二例会決定事項の承認が拍手で行われた。西日本区大会には藤田連絡主事にも参加いただき、費用はクラブ負担、五十嵐メネットの尽力で好評を博したWAKUWAKU アート展も大会で引き継がれることが報告された。

YMCA ニュースでは、脇浜ファミリーウエルネス新館工事が順調に進み、会員募集も順調と報告された。当月誕生日祝、出席の渡辺倫子さんに向けハッピーバースデーが元気よく歌われた。来月は羽太会長任期最後の例会、出席が奨励されて閉会点鐘となった。

島田 恒

神戸 YMCA 創立記念日礼拝

神戸 YMCA が創立 128 年を迎え、5 月 8 日(木)午後 6 時半から、三宮会館チャペルで記念礼拝がもたれた。ロンドンでウィリアムズらによって YMCA が創立されてから 170 年、わが国では東京(創立 134 年)、大阪、横浜に続く伝統を有している。現チャペルにおける創立礼拝はこれがラストという懐かしさも含め、会員・職員で会場が埋められた。

中道会長のあいさつ、くさぶえ混成合唱団の奉仕を含め礼拝は厳粛に行われた。メッセージは 11 年間会長を務められた武田寿子さん。YMCA との関わりのきっかけや、思いもせず初の女性会長に就任したいきさつなどを信仰の基盤のもとに語られた。貢献よりも

得たものが多かったという謙虚なメッセージであった。全員で「日本 YMCA 基本原則」を交読し、主の祈りを捧げた。水野総主事より、あいさつと報告があり、詳細に記された歩みとともに、写真が映し出され、あらためて伝統の重さと将来への責任を感じさせられることになった。

芦屋ワイズからは、上野・柏原・島田が参加、集会後のティーパーティーもそこそこに、武田・多胡ワイズと共に、YMCA 前の「味加味」で料理とワインを楽しみ、上機嫌での帰宅となった。

島田 恒



現会館さいごのYMCA総会

5月30日(金)18時20分30分 神戸YMCA総会がチャペルで開催されました。芦屋クラブからは上野ワイズと柏原が参加しました。1部は礼拝、牧師の「総会の前に礼拝があるというのがYMCA」との言葉が印象に残りました。議事は中道会長が議長になり通例どおりに進み、2014~2015年度常議員・監事の紹介がありました。

報告の中で三宮会館開発事業が着々と進められている映像が映されました。続いてボランティア奨励賞が授与されたが、とくに中山豊美さまは芦屋クラブの募金活動や15周年記念例会にも参加くださったことを印象深く思いました。

続いて各委員会からアピールと活動報告がなされ、チャリティワイン・チャリティゴルフに参加しているだけでもホッとしたというのが本音でした。

終了後、三々五々集まったあのお好み焼き屋さん「音吉」、20人近くになり道路にテーブルを出し気持ちよく譲り合うワイズのお仲間同士、豊富な話題がさらに弾み、大切な情報交換、考えさせられる話題、問題提起・新しく生まれ変わるYMCA会館への期待の中で、失われていくものへの想いが電車の中まで余韻の残る会でした。

柏原 佳子



チャリティーゴルフ大会に参加して

5月21日、第30回YMCAチャリティーコンペに楽しく参加したので報告する。

今回は、41名の参加で、芦屋クラブからスタート1組目に上野、柏原、福原の3名、さらに後ろの組に連絡主事の藤田さんがプレイした。当コンペは、なぜか雨になる事が多く、前夜も大雨で大変心配したが、スタート直前には雨は止み、曇り空ながらコンディションは、むしろ良好となり、ショットを楽しめた。

芦屋クラブの参加者は、このコンペに備えて練習に励みその成果を發揮すべく奮闘した。まず柏原ウイメンのショットであるが、日頃の厳しい練習に加え上野メンの的確なアドバイスの下、持ち前の美しいスイングを駆使しナイスショットを連発していた。中でもドライバーは華麗なるスイングで、とても印象的だ。一方、歴戦の勇士である上野メンのティショットは相変わらず切れがよく、素晴らしい飛距離で豪快なショットであった。

今回、特筆すべきは篠坂メンの参加である。プレイは、されていないが、私達3名を応援する為にわざわざ来て頂いた。お洒落で、ダンディな篠坂メンがスタート前、グリーン等で暖かく見守って頂いた。篠坂メンはご存知だと思うが関西学院のゴルフ部の元メンバーであり腕前は言うまでもない。3名は篠坂メンの見守る中、緊張しながら真剣にショットしたことを報告しておく。篠坂メンの応援は大変嬉しい出来事であった。成績は小生が7位、上野メン17位、柏原ウイメンは35位となり、それぞれが野菜の詰め合わせやゴルフボール等々を獲得し、会場ではユーモア溢れる挨拶があり、いつもながら賑やかで笑い声のある懇親会で大いに盛り上がった。小生が獲得した野菜のトマト、キャベツ、アスパラ、キュウリ等、大変新鮮で美味しかった事を感謝したい。



今回の収益金の詳細はYMCAニュースの報告を参照にされたい。このチャリティーコンペは、大変楽しくプレイできる。お世話役の幹事様に感謝するとともに、次回も必ず参加する事を誓った次第である。

表彰式のクイズで見事1位になりました 福原 吉孝

(私とゴルフ) その1

昭和33年19才でゴルフを始め11年前65才で左親指関節の損傷でプレイ断念。私のゴルフの昔話を少々…。大学二回生の時ゴルフ部に…。学生時代は大人の方から「学生の身分でゴルフなど！」と白眼で見られました。(当時としては尤もな事だ…)昭和31年開場の格式ある、西宮カントリー倶楽部のご好意により、毎週水曜日、確か350円程で午前中のみ練習ラウンドをさせて頂く事に…。夜明けとともに阪急・逆瀬川駅を下車、キャディさん共々クラブバスで…。勿論セルフ、満杯の砂袋を携帯し(自らが作ったディボットのみならず他の分まで修復の為)18Hをスルー(時々、ハーフを終えてから婦人会員の方々と同伴も)。クラブハウスでの

食事は不可、持参の弁当を自家用運転手さんの待機所又はハウス裏の木陰で…。公式戦では広野、霞ヶ関、鳴尾、宝塚、茨木など数多くの名門倶楽部で体験させて頂いた。それだけにゴルフたるものの「基本理念」を嫌が上にも叩き込まれたのは大きな賜物と思っている。礼儀作法はもとより、謙虚で、他の人を思い、自分に厳しく、自制と忍耐、感謝等に真摯に取り組む事を学んだ。これらは全てゴルフの原点であり、次の如き(名言)が残されている。「私はゴルフはいかなる不運・不条理も、(あるがままに)甘んじて受け入れる美德だと思った」「ゴルフにレフェリーはいない。プレイヤー自らがレフェリーだ」「良い勝者であると共に良い敗者であれ」「ゴルフでは怒りは最大の敵である」と。これら「基本理念」を心してスマートなゴルフを楽しみましょう。最終ホールでは同伴者と「有難うございました！」の挨拶で、爽やかな一日の終わりに…。

篠坂 幸彦

YYフォーラムプラス1



はじめまして！今回、柏原編集長より是非レポートを…とご依頼をいただいたYMCAの田治と申します。

今年のYYフォーラムは、YMCAらしいSNSとは？「さあ！(S)飲んで！(N)しゃべろう！(S)」でした。

語る「お題」をサイコロの出目に託し、出た「お題」は特に盛り上がったテーマ、「恋ばな」でした。

芦屋クラブ柏原佳子さまの「わたくしは、17歳の初恋以来、主人一筋！」「いくつになっても恋はしないと！」という力強いお言葉は、芦屋ウイズの皆様にはおなじみかと思いますが、初めて何う私には新鮮な印象を受けました。続いて、嬉し恥ずかし職場結婚のお話、初老の紳士の淡い初恋のお話などなど話題は尽きません。次第に内容もどンドン暴走…もっと突っ込んだ話になってきた最終グループでは、宝塚ウイズTさんから、海外留学中だったご主人との海を越えた文通のお話、リーダー活動と彼氏との両立の悩み、職場が女性ばかりで出会いが少ないという嘆き、そしてちょっと気になる殿方へのアプローチは？といったある意味お約束の話題ができました。このように世代も性別も立場もすべて超えて対等に「顔を合わせて」語り合う姿こそ、YMCA 活動としてあるべき姿。新しい出会い、語り合いから人生が変わる、これこそがYらしいSNSではないかと実感しました。

この勢いに乗かって？数ヵ月後にありがたくも入籍してしまった私ですが、YYフォーラムのおかげかと感謝しています。元気をいただいた柏原ウイズに創立記念礼拝で一緒になり、思わずお陰さまで…とお礼を申し上げたところ、いきさつを原稿にと依頼され本文になった次第です。

YYフォーラムでの、皆さまの言葉が応援団になったのは言うまでもありません。最後になりましたが、企画運営に携わったユース委員会、各ウイズのみなさまへ心からの感謝を申し上げます。ありがとうございました。

YMCA本部事務局 田治 杉子

五十嵐邸での第2例会

芦屋クラブが発足してから16年ですが、第2例会を会員の自宅でしたのは記憶にない…。



5月28日の会場は五十嵐邸の1階でした。市民センターとは違った雰囲気、五十嵐かほるメネットの父君が105歳まで楽しんでいたというビリヤード台を囲んで、いつも通りの第2

例会を済ませました。

さて、懇親会場となった4階へ上がると、かほるさまの手料理がずらり…。ビールで乾杯したあとはbuffetスタイルで楽しいホームパーティが始まりました。



篠坂ワイズもこの日だけは出席できるように奥様のために娘さんが付き添ってくださっておられるとか、楽しい会話が弾みます。

五十嵐ワイズのお手製

になる生鮭の燻製など食材もたくさんで、ワインを飲みながらただ感謝！感謝！の2時間があっという間に過ぎていきました。

上野 恭男

5月第2例会議事録(抄)

と き: 5月28日(水)

と ころ: 五十嵐政二邸

出席者: 羽太英樹会長・五十嵐政二・かほる・上野恭男・柏原佳子・桑野友子・篠坂幸彦・島田恒・都筑省三・畠中由圭・福原吉孝・美鈴(各メン・メネット)

議 案

- 1) 6月第1例会は「一年を振り返って」
6月第2例会で福原次期会長より年間方針・計画案などを提示。
- 2) 4月会計報告は立て替え金について記載上の訂正をすることを確認し承認
- 3) 7月例会(キックオフ)会長方針 福原次期会長
- 4) その他、報告等
 - ・熊本みなみクラブに交流委員から西日本区大会フェロシップアワードでの交流を打診する。
 - ・19日YMCAチャリティラン打ち合わせの報告・福原吉孝ワイズ
 - a 関学のチア・リーダーの参加、障がい者の方のランの受け入れの提案をした。
 - b スポンサー(企業)へのメリットを広告などの形で考えるよう提案した。
 - ・篠坂ワイズより休会に対してのご挨拶があった。
 - ・会議終了後、五十嵐邸で懇親会を持った。

1. 創立記念日礼拝、開催

創立128周年の記念日礼拝が5月8日(木)に開催され、110名の方々が出席。武田寿子前会長・理事長の「YMCAからの賜物 ～11年を振り返って～」とお話をいただきました

2. リーダー委嘱式、開催

5月18日(日)にボランティアリーダーのトレーニングと委嘱式が行なわれて100名弱のリーダーたちが参加。

3. チャリティーラン、始動!

今年も11月3日(祝・月)に予定のチャリティーラン実行委員会が、5月19日(月)開催。今年から実行委員長は、美崎晋さん(神戸ワイズメンズクラブ)となり、新委員も加わって実行委員会が組織されました。

4. 第30回チャリティーゴルフ、開催

5月21日(水)に第30回を数えるチャリティーゴルフ大会が三田市の千刈カンツリー倶楽部で開催され、41名の方々が参加。今回も多く募金が寄せられ、30回の通算の募金額は909万円となり、青少年指導者養成のために使われ、2011年からは一部を東日本大震災支援のために使われています。また、子ども奨学金への募金もお願いしていますが、任意で64万円ほどが寄せられています。

5. 今後の予定

1) 第33回午餐会

日 時: 6月28日(土)正午～午後2時

場 所: 神戸YMCA 4F 会議室

テーマ: 「小豆島の活性化と神戸YMCAへの期待」

講 師: 塩田幸雄さん(香川県小豆郡小豆島町長)

会 費: 1,500円 *ご予約ください。

2) スペシャルコンサート in SEIAI

日 時: 7月12日(土)午後4時30分～

場 所: 日本キリスト教団神戸聖愛教会

内 容: 「神戸YMCAベルクワイアー」と「せいあいパイパーズ」によるジョイントコンサートです。

入場料: 1,500円 *チケット購入とチケット販売にご協力ください。 連絡主事 藤田良祐

編集後記

6月1日、今期のブリテンの最終稿をほぼ終えて皆様へ感謝しなければいけません。依頼原稿投稿の早さに加え、編集のスピードアップは回を追うごとに充実し、今号は一番遅い例会、第2例会であるにもかかわらず、月初にHPにUPできる余裕はひとえに編集担当の技術の賜物です。私にもブリテン編集長ならではのメリットがあり、原稿依頼から校正、完成までのメールでのやり取りでお人柄が面白いように伝わってきます。内容はもちろんですが、文体等無意識に影響を受けハットすることがあります。拙いエッセイを文学そのものだと褒めてくだされば嬉しく、楽しみにしていると言っておれば次のエネルギーに変わります。残念なのは終わった!という達成感が湧いてこないことでしょうか。次月は7月、キックオフです。気分一新してまたお付き合いください。 柏原佳子